講義名	対2)社会心理学					授業形態	
担当教員	蜂屋 真	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 ４時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング	

主題と概要

まず、社会心理学の研究対象、研究領域、研究法について講義する。次いで、社会的自己、対人認知、対人魅力、態度について講義する。最後に、集団と群集の心理について講義する。

到達目標

社会心理学の研究法、自己開示、バランス理論、態度、要請技法、社会的促進、社会的手抜き、同調、服従、流言、パニックなど社会心理学の基礎的項目について、理解し説明できるようになる。

提出課題

授業の進行に従って、学生諸君に様々なレポートを書かせる。それを授業に反映し、活用する予定である

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業中に書かせたレポートに対して、随時コメントを行う。

評価の基準

授業中に何度か理解度試験を行い、それらの成績の合計で最終評価する。従って、学期末の定期試験を行わない。

履修にあたっての注意・助言他

授業は板書を中心に行われ、ノートを取ることが必要である。授業中に何度か理解度試験を行うが、これを予告なしにランダムに行う。従って、授業を欠席していると、単位取得が難しくなる。

教科書

.無し.				

参考図書

.影響力の武器.	Cialdini （社会行動研究会訳）	誠信書房	2700	9784414304220
.選択の科学 .	シーナ・アイエンガー	文芸春秋	930	9784167901554
.ポテンシャル社会心理学.	岡隆・坂本真士編	サイエンス社	2400	9784781914312

その他

授業計画

1.社会心理学とは：研究対象、研究領域、研究法
2.社会的自己（1）：自己の形成、自己の防御
3.社会的自己（2）：公的自己意識、私的自己意識、自己開示
4.対人認知（1）：印象形成、ＩＰＴ
5.対人認知（2）：ステレオタイプの認知、バランス理論
6.対人魅力（1）：美醜、態度の類似性、好意の返報性
7.対人魅力（2）：恋愛心理
8.態度（1）：態度の成分、形成過程、態度変容
9.態度（2）：説得、要請技法
10.集団の心理（1）：集団参加の動機、凝集性、社会的促進、社会的手抜き
11集団の心理（2）：同調、権威への服従
12.集団の心理（3）：リーダーシップ、ＰＭ理論、条件即応モデル
13.群集の心理（1）：群集の分類、流言、流言が引き起こした事件
14.群集の心理（2）：逃走パニック、獲得パニック
15.まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：授業内容に関連する書籍を、前もって読んでくること（2時間）。
復習：授業内容に関連する書籍を復習として活用し、疑問点はメールで教員に尋ねること（2時間）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

心理コースのディプロマポリシーは2つあるが、その一つは、「人間の精神機能と心理学の研究法の知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる」である。対2)社会心理学の授業は、人間の精神機能の知識を提供しており、このディプロマポリシーに関わっている。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

対2）社会心理学は対面授業である。しかし、学生の科目履修状況により、オンデマンド授業になる場合がある。オンデマンド授業の場合、授業内容は上述したシラバスと同一である。